

No.144

# 公民館だより

平成24年3月

宮津市字由良  
由良の里センター内  
由良地区公民館

## 歩けるよろいび

由良地区公民館長 枝川 隆 亮

私たちは、朝起きてから夜休むまでいつも歩いています。歩かなければ目的を達成できません。

歩くことは簡単で、しかも、身体・体力の向上、健康づくり  
に効果があるとされていますが、ただ歩くだけでは効果が薄いとされています。

体力は30代から下がり始め、日頃運動をしている人と、していない人では徐々に差が出てきます。

加齢とともに骨はもろくなり高齢者は転倒し、骨折で入院から寝たきりになることも少なく

ありません。

ちよつとした段差につまづいて転倒したり、安静な生活が、寝たきりにつながったりするのは筋肉が落ちてしまった結果だと言われています。

だからこそ、筋肉を少しでも衰えさせないためにも運動が必要で

運動をしていると、寝たきりにならずに生活できる『活動的余命』が20年も違ってくると言われています。

宮津市では、23年度から「高齢者の方が、いつまでも元気で現役で。」という思いから市民

あげての「健康づくり運動」推進への取り組みをすすめ、市民の健康づくりの第1歩として歩行「インターバル速歩」の普及を始めています。

「インターバル速歩」とは、

①通常のウォーキングより1分間のエネルギー消費量が多いため、少ない運動時間でより大きな効果を得ることができ

ます。  
②「あの目的地まで歩いてゆこう」というように目標物を決めて歩く。

③疲れたり、息が切れたりしたら、ペースを落とし2分間ぐらいゆっくりと歩く。次の目標までまた速歩で歩く。

④速歩の時間は、3分で無くとも良い、一定の間隔で繰り返し行わなくても、合計が1日15分、週4日以上続けることがポイント。

⑤背筋を伸ばし、できるだけ胸を上げた姿勢で、呼吸を整えながらリラックスして歩く。

⑥普通歩き3分、速歩3分（全

速力の70%の速さで歩く）を交互に続ける。

以上のように宮津市では、「インターバル速歩」の実践を中心に健康づくりを展開しています。

そこで公民館からの提案です。地区民の皆さん、天気の良い日は歩いてみませんか。

しかし、決して無理はしないでください。無理は禁物です。

公民館ではモデルコースとして3コースを設定しておりますが、最初は我が家をスタートして、約2〜3kmで週4日を目標に実施してください。慣れてくれば、「インターバル速歩」にトライしてください。

国民宿舎までのなだらかな坂道は、結構きつく、カロリーを消耗し、体力作りに打ってつけのコースです。

記録的な豪雪が続きましたが、もうすぐ春、若葉を愛でながら由良ヶ嶽山麓をウォーキングするのも健康的で体力維持のためにも良いことだと考えます。

# 行事報告

主事 磯田 充 亮

◎十月十六日(日)

ふれあいグラウンドゴルフ大会

第6回目の団体戦を由良小学校グラウンドで実施しました。

今年は1チーム5人編成で12組の参加があり、午前、午後に分かれ、8ホール2週の合計打数で競いました。

成績

○優勝

午前の部(六組)

スペシャル宮本II(230打)

午後の部(六組)

松原寺クラブ(236打)

○ホールインワン12回(10人)

○個人最少打数 42打

○個人最多打数 64打

(他の成績は回覧「公民館がいど」で報告済)

今回の開催模様は読売新聞の折込紙「たんごっち」に写真入りで掲載されました。

◎十一月三日(木)文化の日

文化祭

今回も由良婦人会共催で開催しました。内容は、作品展、バザー、裏千家「淡交会」の協力によるお茶席等が開設され、約600名の方が訪れました。

作品は、多くの傑作が展示されているなか、画家志望の高校生のお茶席では正装(着物)の児童がお点前を披露、客人はとんりの仕種を気にしながらお茶をいただく姿が見受けられました。今回の作品は122名の方から235点の応募がありました。

内容は

絵画 39点 生花 23点

写真 25点 手芸類 37点

他に初出展のレザークラフト・パッチワーク・紙細工・竹細工・幼稚園児の陶芸等の展示がありました。

作品数が減少するなか、趣味

を生かした多種多様の作品があり感動しました。皆様の御協力ありがとうございました。

◎十二月十七日(土)

子供のびのび体験活動

「子供料理教室」

今回も宮津市食生活改善推進委員協議会(食改)の皆様の指導を受け、由良子供会連絡協議会共催でクリスマスケーキ作りを開催しました。

この教室は子供達には人気があり今年で7回目を迎え、小学生、園児34名が参加しました。五、六年生が班長になり6班のグループに分かれ挑戦、二段のスポンジケーキにデコレーションするもので、各班協力し豪華なケーキが完成しました。後で班別に記念写真を撮り、試食しました。

今年も昼食後、感想文を書いてもらいました。後頁に掲載します。

◎一月十四日(土)

新春公民館囲碁大会

今回も由良囲碁同好会の協力を得て開催しました。

当日、急遽欠席者があり8名の参加となり、毎回初段以上と一級以下に分かれリーグ戦を行なっていました。全員による変則リーグ戦(1人5回戦)で実施しました。

成績(敬称略)

優勝 今西 秀夫 4勝1敗

準優勝 飯澤登志朗 3勝2敗

三位 熊田 良雄 3勝2敗

今回は3勝2敗が4名となり

トーナメント戦を行ない右記の順位となりました。

◎一月二十八日(土)

卓球教室

今年も生涯スポーツの普及と健康づくりの推進の一環として冬場に適した卓球教室を三月末まで由良の里センターで開催しています。(開催日等は「公民館がいど」でお知らせ済み)

# 由良小児童

宮津市立由良小学校 校長 小 奥 伊 善

今年度、由良小学校は学校教育目標を『ふれあい、つながり、たすけあいのできる児童の育成』とし、めざす児童像として、①よく学ぶ子②よく遊ぶ子③よく食べる子を設定し取り組んできました。教育目標やめざす児童像を達成するためには学校だけでなく、地域、家庭との連携が不可欠ですが、自治会・公民館・民生児童委員さん・子ども連絡協議会・松寿会等の地域の皆様方の多大な支援を受けながら教育活動を行うことができました。

家庭との連携では、『あいさつ運動』の取組がありました。PTA活動のメインとして、毎月第三週の一週間、「一斉声かけ週間」を実施しました。家庭内（おはよう・いただきます・行ってきます・ただいま・おやすみなさい）のあいさつや外でのあいさつ等、地域、家庭で大人から積極的に声

かけをしていただきました。朝、通用門の前で子ども達を迎えていると、まだ十分とは言えませんが、声が出るようになり、相手の顔を見てあいさつできるようにもなってきたと感じています。登下校で、付添っていただいている方や道々で指導していただいている皆様に感謝申し上げます。

子どもは地域の財産です。笑顔いっぱいの子どもが地域のあちこちで見られ、遊び回る子どもがいる地域は活力があります。今年度、由良小の子ども達は様々な場面で元気な姿をお見せすることができました。

ひとつの目は「はまの子ソーラ」です。敬老会や運動会で地域の方々に披露させていただきました。練習過程では、褒められても決して満足することなく、常により力強い踊りを目指して、六年生を中心にグループで教え合い

ながら取り組んでいました。目標に向かっていった姿勢は、由良地区の方々に多くの感動と元気を送ることができたのではないのでしょうか。

ふたつ目は、学習発表会で披露した、一年生から四年生で取り組んだ「島引き鬼」の人権劇です。相手（観客）を意識し、思いが伝わるように大きな動作と声で演じることができました。子ども達は自分の役割を理解し、どの子も、一人一人の演技の集まりが全体を素晴らしいものに仕上げているとわかってきたと思います。セリフの多い少ないはあっても、一場面一場面が大切であることを知り、自分の持ち場を最大の演技でやり抜いてくれました。少ない小学生が一人何役も演じた「丹後文政一揆」の学習劇、五年生のペープサート劇「大造じいさんとがん」も含め、由良小児童の無限の力を見ていただけたと思います。

合ったり、先生達の『ここはこうしたら』という指導があったりして、練習に練習を重ねて素晴らしいものを完成させました。みなさんが一生懸命に頑張ったことはもちろんですが、みなさんは、もともと、それだけのことが出来る力を持っていただけです。そんな大きな力を持っているので、これからも、勉強・スポーツなどあらゆることにかんがり、持っている力をどんどん引き出してほしいと思います。」と話しました。

平成二十四年度は、参観日を含め、学校行事の際には、各月の学校だよりはもちろん、由良地区内の放送をさせていただき、全由良地区のみなさんに、子ども達の元気な姿を見ていただきたいと思います。そしてまた、たくさんの方から、みなさんからの応援をいただきたいと思います。今年度同様、みなさんのご支援・ご協力をよろしく願っています。

## 子供料理教室

### クリスマスケーキ作りに参加して

(感想文を転記)

#### 六年 岡 本 遥 菜

今日のクリスマスケーキ作りで私は最後となりました。最後の最後でグループのみんなで協力し合ってとつても楽しくする事ができました。ケーキも今年はきれいな物が作れました。

#### 六年 小 林 美 香

十二月十七日土曜日にクリスマスケーキ作りを由良の里センターでしました。私は、このケーキ作りを毎年行っています。由良の里センターへつくと少ししてから班作りをしました。そして、作った班でケーキ作りをしました。見た目を特に工夫しました。生クリームでハートをつくり、

その上にハートのピンクのチョコをおきました。

みんなで協力して作れました。毎年楽しみに行っていただけ私は今年で最後なので思い出になるいいケーキ作りができて良かったです。

#### 六年 中 西 夕 紀

十二月十七日に、ケーキ作りがありました。わたしは、いりあちやんとりほちゃんとななちやんとこうた君とのぞみ君とでした。わたしはかざりつけをがんばりました。できあがってみると、きれいにかざりつけができていてよかったです。

#### 六年 濱 野 颯 人

今年、初めて料理教室のケーキ作りに来ました。

始めは、ホイップクリームを間にぬりました。その上に、フルーツをのせて、サンドしました。その上にまたホイップクリームをぬって、フルーツのせて完成しました。

ケーキを六つに切ったら、大きさがバラバラになってしまいました。でも、味はおいしかったです。昼のカレーもおいしかったです。

#### 六年 前 畑 あ づ さ

十二月十七日に料理教室がありました。私は今年で最後のケーキ作りを生けん命作りしました。生クリームをケーキのまわりにぬるのが大変でした。少しスポンジがくずれた時もあったけどみんなで盛りつけてきれいにできてよかったです。おいしくてよかったです。今年最後の料理教室はうまくできたと思いました。次の時はもういけないけど、最後に楽しくできたのでよかったです。

#### 五年 岡 本 凌 輝

みんなでオリジナルケーキをデザインしてつくって楽しかったです。

一・二年ぶりにケーキ作りに来たけど、やっぱり楽しかったです。

#### 五年 小 室 麗 妃

みんなで楽しくケーキを作れてよかったですし、ぐちゃぐちゃだったけどおいしかったですよかったです。

#### 五年 田 村 那 奈

十二月十七日にケーキ作りがありました。六人の人となりました。ケーキのパンを使いました。生クリームがぬれなくてたいへんでした。くだものをのせるのが楽しかったです。できてうれしかったです。

#### 五年 中 西 智 也

ケーキ作りでクリームをぬるのがむずかしかったです。

最後にケーキを切ったらつぶれてしまいました。次も作りたいです。

五年 室澤 戒 依

ケーキ作りが楽しかったです。ものすごくきれいにできてよかったです。今年はきれいに作れてよかったです。あとパイナップルがきれいにかざれてよかったです。ものすごく楽しかったです。

四年 上羽 省 吾

ケーキを作ってちよつとぐちゃぐちゃになったけど作れておもしろかったです。ケーキは、くだものもいっぱいはいっていたしクリームもいっぱいはいっていたのでおいしかったです。

ひるごはんのカレーライスとやさしいおいしかったです。カレーライスはいっぱいいたべれておいしかったです。やさしいは、しゃきしゃきしていておいしかったです。

四年 小林 ゆうき

カレーライスはあま口かわからないけど、少しあまくてタレがいっぱいはいっていたのでおいしかったですし、ケーキは、自分がしたいやつができませんでした。さいごだけかけるやつをかきました。あじはあまくておいしかったです。来年のケーキ作り子ども料理教室がたのしみです。



子供料理教室 ケーキ作り

浜の子と地域

ますます気ぜわしく、効率が求められる世の中で、昨年来日されました、ワンチュク国王夫妻（ブータン）の心の豊かさを国是とする（幸福）の考えに思いをはせる時、私は、子どもの頃の事を振り返り、思うのです。

チョウやトンボが飛んでも、心地良い春風が吹いても、海辺を友人と歩いて、夏色の白い船を見ても、枯れ葉が落ちて来て、踏んだ時、そして、冬將軍がやって来て初雪を見たことなど、どれもこれも珍しく思う時代でした。大人になれば、どういう事はない光景なのです。私だけの思いではなくて、自然の中で寄り道（道草）した事や人生の寄り道をした事も、多少なりとは誰だつてありますよね。（人生には、人それぞれ

小西 衛

の生き方はありますが）そして、いろいろな事が自分の人生を豊かにして来たと思うのです。皆さんもきっとそうでしょう。

しかし、ご存知のように今の地域社会を考えてみますと、由良地域でも「地域の目が子どもを守る」といった昔では考えられない看板が由良小学校の回りに立っています。この看板を見るたびに大阪教育大学付属池田小学校の惨状を微かに思い出してしまいます。

全国各地で子どもの安全が確保できないということでは、寄り道（道草）をする余地はどこも狭められています。だから地域として「子ども見守り運動・あいさつ運動」をおこなっているわけです。そしてそれが、もっとより強い「市民運動」に成っていかばいいのになあと思っています。

又、「他人に声をかけられたら気をつけなさい」という警戒心の中で子どもは生きています。満足に外にも出てないのではないのでしょうか。子供・PTA・地域・学校も切ないですね。心が痛い。心が辛いですね。子どもにも、もっと、もっと自由をプレゼントしたいものであります。

だから、今まで通り安心・安全を図るためにいろいろな事をやりながら、それを踏まえて寄り道(道草)もできる安全対策も講じられないものかと思うのです。やはり危険でしょうか? いろいろな事情で無理でしょうか? 私達が子どもの時、おじさん・おばさんに監視してもらって、海水浴したじやないですか。

映画「ALWAYS 三丁目の夕日」は、昭和三十年頃の東京下町を舞台にして、人情あふれる人々の姿と、古き良き時代のほのぼのとした心暖まる共同体(絆)を感じさせてくれます。今も変わらないものがある。そ

れが「夕日」ではないだろうか。今、子どもが家路に着く時、夕日を見ないで帰っているのではないだろうか。この映画は「いつも皆んなで三丁目の夕日を見ていた」という物語です。

僧侶・川村妙慶さんは、いろいろな子どもの問題について、「自分の子、他人の子といった区別や、子どもの有無に関わらず同じ社会の仲間として関心を持つことが求められている」と新聞で訴えています。

そしてまた、昨年の由良公民館だよりの中で、由良小・幼PTA会長、岡本さんは、子どもが行く末の文章の中で「子ども達は、時代は変わっても、地域に育てられている事は間違いありません。」と書かれ、又、由良婦人会長、渡邊さんも成人された娘さんとの小さかった頃の話しの中で「祖父母と地域の皆様に育てられたことをありがたく思っています」と書かれています。

皆さんは、由良ワイワイ共同

体の仲間として、「一歩踏み出しますか」それとも「一歩引きますか」それとも「このままの状態でタフに生きますか」吉田拓郎は、歌い続けています。(のびやかにしなやかに育てよ子ども、やがて大地踏みしめ太陽になれ)



由良石で造った由良小学校の石垣

### 平成23年度 宮津市人権標語入賞作品

ちいさなて なにかのやくに たちたいな (小学一年生)

「ただいま」 きょうもみんなと あそんだよ! (小学二年生)

はじめよう もらったやさしさ 心のちょ金 (小学三年生)

# 「さらば由良村」「由良小学校」

中西 六右衛門

平成二十五年(二〇一三年)

三月、由良小学校が廃校となるのを機に、古きを想い現状では流れを変える事が出来なかつた由良地区の老齢化と過疎化を、これからの第三の力による、由良が変化する力で地区の活性化を期待します。

千軒長者の由良村は、北前船の船頭衆で地区は豊かになり諸々の仕事が生まれ活気が生まれました。新しい交通手段により北前船が無くなり、海を我が物顔で走り回っていた船頭集団は海を渡る事を意に介せず、米国組、南洋組、台湾組、朝鮮組と海外で仕事を見つけ、成功し、その地に根を下ろし活躍したが、七十年前の太平洋戦争、第二次世界大戦で仕事を捨て帰国せざるを得なくなりました。故郷由良村へ帰京した先輩達は農業に観光業に子弟の教育に運動

に一生懸命取り組みました。その結果大勢の若者達は由良を離れた。その結果や原因を詮索したり追及しても、もう何も生まれません。

この様に過疎化し老齢化した現状では、私を含めもう由良を変え再び充実させる力はいせないと考えます。残された道は廃校になる小学校や荒廃した家屋、田畑、山林を由良以外の第三の力で再生し活力を生み出す施設に作り替える事に協力する事位でしょう。これが最後の由良村に対するご奉公かとも思います。

しかし由良小学校の最後に当たり、小学校に感謝し、巣立つて行った先輩に感謝と報告を兼ねた「由良小学校大同窓会」の開催実行を提案致します。

その方法は多数有ろうと思いますが、要は由良小学校が暮を

下ろす事ですから、元現自治連合会長で実行委員会を結成し、歴史に残る同窓会を実現してください。

その中で

- 一、由良小学校の歴史、二、由良小学校の為に物心両面で尽力願った諸先輩(地区民の寄付で出来た最初の小学校、火災後の大口寄付で再建したと聞く小学校、その都度地区民の善意が有った事等) 三、歴代の校長先生 四、主だった学校行事 五、生徒数の変遷 六、その他を 記録に残す。

と同窓会行事の一環として、同窓生の最後の小学校訪問、校長先生の話(訓話)、授業参観、給食試食、在校生との対面式、由良小学校校歌合唱、記念撮影、大パーティー等等、(私ももう少し若ければ実行委員長に立候補するのですが、残念ながら知力も体力も無くなりました)自治連合会長の皆さん宜しく御願い致します。

(二〇一二年)

## 第29回 宮津市民卓球大会

平成二十三年十二月四日

(日)宮津市民体育館で行なわれ、由良から十一名の方が参加されました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

### ◎団体戦

- A級 準優勝
- C級 三位

### ◎個人戦

- 一般男子の部
  - C級 優勝 熊田 良雄
  - 一般女子の部
    - A級 優勝 日比 道栄
    - B級 三位 小林久美子
  - 小学生男子の部
    - 三位 小林 祐樹
  - 小学生女子の部
    - 優勝 小林 美香



# 郷土の偉人 澤井市造翁(Ⅱ)

## 飯澤登志朗

先号(No143)公民館だよりにその人生の一部を記述した。

市造翁が幼くして父母と死別その後成長して事業を興し一時代を築くことになる。

事業の主なもの鉄道工事が中心であるが、その一つに舞鶴線建設がある。

(以下、舞鶴地方史研究第32号小林清著から)

舞鶴線建設工事は、明治35年3月7日国会で可決され、4ヶ年(明治35~38年)の継続工事として着工されることとなるが工区は第1から第6丙と舞鶴海岸線として9工区に分けられ、その9工区の内第4、第5、第6丙、舞鶴海岸線と4工区を請負こととなる。

第4工区は東八田村上杉から中筋村真倉まで4.66km。

第5工区は真倉から舞鶴町まで5.44km。

第6工区は倉梯村森から倉梯村浜まで2.4km。

舞鶴海岸線は舞鶴町から大森海岸まで1.7km。(地区名は何れも当時の地名)

次に工事の概況を見ると、

第4工区では、丹波・丹後の境、黒谷峡谷を中心に短かい区間であるが地形が狭く、伊佐津川が蛇行し、トンネルが4ヶ所、鉄橋が5ヶ所と最も多難を極めた工区であった。

第5工区は、平坦な地形で築堤による路盤づくりが中心となるが土砂の採集に困った模様である。

第6乙工区は、明治37年2月遂に日露戦争が勃発するが未だ工事は着工せず、3月2日政府は閣議で「舞鶴線鉄道速成案」が確定する。

その後は各工区とも競い合っ

た。

海岸線は、南田辺から河口、大森海岸の短い区間であったが開通当時は重要な役割を担っていた。即ち、山陰線や小浜線、宮津線が未開通のため舞鶴港から海路を利用していた。

以上のとおり舞鶴線9工区のうち澤井市造は4工区を分担し請負金額も工事費の半額を占めている。

また澤井市造が鉄道工事を進める際に特筆すべき工法がある。

橋梁基礎工事は水中の工事であり水圧、土圧を除き安定した状態で作業をするために4寸から7寸の厚板を組み合せた箱枠を水中深く沈め、なかの水を汲み出し箱枠の上部にレールや土俵の荷重で負荷し、枠底を掘り下げて沈下させる方法であり、澤井市造は箱枠工法のパイオニアといわれている。

次に「澤井市造」(澤井組発行)から

先号の公民館だよりでも記述したが翁は明治45年に台湾で65

歳の人生を閉じているが、台湾での行動について紹介したい。

基隆隧道工事について市造翁が代表を務める有馬組と一方の大倉組が両側から工事を進める段取であったが再々衝突した。

時の鉄道隊長山根将軍が市造翁を呼び円満に工事進行を促すが、当局の大倉組に厚く有馬組に薄く扱いを正すことが先決と譲らず山根隊長は激怒して、予の命に従はざる者は国賊であると威嚇して帯剣に手をかけた。

市造翁はあわてることなく、貴官の刀では着物の上からでは斬れないだろうといい、裸になつて水を被り姿勢を正した。

山根隊長は彼の動作を見て態度を改め、元より汝に怨なし、一に国家の為此の事業を遂行せんが為だとして工事の早期完成を命じた。市造翁も隊長の真意を理解して昼夜工事を進め予定工期内に完成させたのである。

この山根隊長は後に近衛師団長として名高き山根中将である。



市造翁は鉄道工事だけではなく市民生活にも大きく関わっている。

台北では明治32年頃消防組織がなく勝手に火事場に駆けつけて消火に従事していた。

関係者を集め協議の結果私設消防組を設置するが連携が悪く勢力争いが起り弊害も伴うことから官設消防組を結成することとなった。

明治35年に私設消防組を解散し官設の台北消防組が設けられた。消防組の全員を台北庁の雇人として直接台北庁の監督の下に行動することとなり、市造翁は初代の消防組頭取に推されることとなる。

頭取は自腹を切ることも多くかなりの出費があった模様であるが台北消防組は市造翁の徳を偲んで、毎年出初式の前日に全員揃って墓参し、当日は鐘を合図に読経を始める等仏事を営むこととなっていた。

◎澤井組について  
合資会社としてスタートした

のは大正2年である。

市造翁は生前から澤井組は自分の私有ではない、永年自分と苦勞を共にしてきた店員の働きから発展したものである。

だからある時期を待って苦勞をしてきた店員と共有のものとしたいと二、三の親友に語っていたが具体的な仕組を立てる時期を待たず他界することとなった。

市造翁逝去の当時アメリカから帰国した相続人澤井市良氏と相談し、故人の遺志を尊重してこれを世間に発表したものである。

由良園地の澤井市造の胸像の前に立つと「公民館だより」2回に記した文章が誠に貧弱で市造翁が「私の人生はそんなものではない。」と厳しく云われているような気がする。郷土の偉人澤井市造翁のご冥福をお祈りするとともに、その業績を次代へ引継ぎたいと願っている。

## 多くの皇子達の

## ヤマト脱出行、丹後をめざす

京都丹後学会会長  
丹後ふるさと観光大使

坂本与一郎

明日香や平城京から見ても、「北ツ海」（日本海）、そして「丹後」は「北々西」にある。裏鬼門である。

山の深い南へは逃亡しにくい。「王権」の争いにまきこまれた危機せまる皇子達に、九代開化天皇から十五代応神天皇までヤマト建国を荷った海人族の道先案内人が寄り添っている。ナビゲーター「浦島太郎」である。

おそらく北へ向えば、北ツ海へ出られる桂川など川のルートネットワークが存在したのではないだろうか。

### 速総別

仁徳十六代天皇は、駆落した皇子速総別を殺す。大内峠・倉梯山に王落峠の名が残る。

億計王・弘計王

雄略二十一代天皇の皇子時代多くのライバル皇子達を殺した。市辺押盤皇子を射殺。残された二人の皇子オケ・ヲケ王は丹後に潜伏。後二十三代顕宗・第二十四代天皇が誕生。二人の天皇は丹後潜伏の苦難の経験を生かして、善政をつくしたといわれる。大川神社・麓神社・浦島神社に伝わる。

穴穂部皇子

用明三十一代天皇の、弟穴穂部皇子は、天皇の座を争い蘇我馬子に殺される。丹後に逃げる途中であった。丹後半島間人。

蜂子皇子

崇峻三十二代天皇は、大和の強力豪族蘇我馬子と対立殺され



由良の湊 船出之地

る。第一皇子蜂子皇子は、丹後へ逃亡。由良湊から舟出。庄内由良へ上陸。出羽三山の開祖能除仙となる。

この出来事は、由良湊に伝わるとは。しかし、丹後全域でみるとこれだけではない。

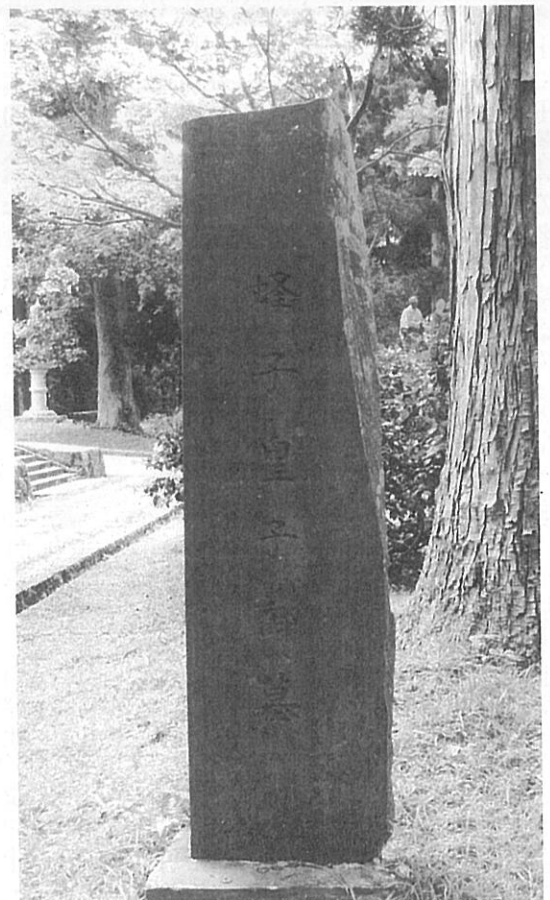
舞鶴市にある海上保安学校の校長に長澤安純氏が就任された。氏のルーツは蜂子皇子にあるらしい。出羽三山にある氏の故郷にある宮内庁管理の墓石の写真をいただいたので紹介します。



蜂子社



蜂子社



蜂子皇子御墓

# 丹後文政一揆えものがたり

## みもり あきら



一八二二年（文政五年）宮津藩で、領内百二十か村の百姓が、鋤、鎌、斧、竹槍などを手に、むしる旗を振りかざして、領内の名主、庄屋屋敷を襲撃しながら、宮津城をめざして押しよせました。

その数、およそ三万人。現在の宮津市の、総人口を上回ります。後々まで語りつがれる、宮津藩、文政の大一揆です。この一揆については、昨年の十一月、由良小学校の学習発表会で、児童の皆さんが劇により、発表されました。

一揆のおこる前年、文政四年に宮津藩主の本庄宗発は、徳川幕府の寺社奉行という要職に就任しました。その為に出費がかさみ、費用捻出に、領民の年貢をふやす事を決めたのです。

百姓から取りたてる年貢米は三分の一を、銀で月割りにして先納する厳しいものでした。

百姓達は田畑を売り、小さな子供を年奉公に出し、「先納三分銀」を苦勞して納めました。

さらに、「万人講」という過酷な税が考え出されました。「万人講じゃとー！」

「七つの子供から、七〇才まで一人につき、一日三文の銭をもれなく納めるゆうことや」

「宮津の殿さまは、わしら百姓に、死ぬと云いなさるのか」

与謝郡、奥山村の新兵衛の家に集まった百姓達は「万人講」の不満を、口々に訴えました。

「百姓は生かさず、殺さず」と申しますが「万人講」などを行なわれては、百姓の苦しみは増し、死に絶えてしまいます。何卒、お考え直し下され」

宮津藩江戸藩邸で、江戸家老栗原理右衛門は藩主宗発に「万人講」反対を具申したが、宗発に聞き入れられず、宮津へ帰されて謹慎を命じられました。

宮津藩は、百姓の抵抗を柔らげようと「先納三分銀」を二分銀に減らしましたが、そのような小手先のごまかしでは、百姓達の怒りはおさまりません。

「もはや、一揆しかあるまい」「先納三分銀」「万人講」なんかみんな、つぶしてやるだで」

奥山の新兵衛、義弟の為次郎を中心に与謝郡の百姓達は相談を重ねて、役人に知られぬよう領内百二十か村に使いを出し連判状を回して一揆を呼びかけた。

文政五年十二月十三日  
雪に備えてみの笠をまとい、



武器を手に、領内の百姓達が、のろし火を合図に決起しました。

与謝郡、中郡、竹野郡、さらに加佐郡河守方面から、普甲峠を越えて宮津へなだれ込んだ。

となりの栗田からも、のろし

火と共に栗田峠を駆けぬけ、別の一隊は小舟に乗って、宮津湾から一揆勢に加わりました。

領内百二十か村の百姓達が、一揆は御法度、命がけと知りながら、「先納三分銀」「万人講」を潰す為、一斉蜂起したのです。

一揆の勢いは凄まじく、役人の手先となっていた名主、庄屋屋敷を打ち壊しながら、宮津城下に集まって氣勢をあげました。

藩の役人達も、一揆勢に対して打つ手もなく、百姓達の要求を受け入れる事になりました。

宮津藩は「先納三分銀」「万人講」を撤回して、これらの酷税を献策、実行した重役達を免

職処分にして、謹慎させたのです。

奥山の新兵衛を中心とした一揆勢の勝利と思われました。

だが宮津藩は、法を破り一揆を行なった百姓達を見のがすほど甘くはありません。

年が明けて、文政六年、梅の花が咲き始める二月頃、奥山村の新兵衛、為次郎ほか、百人ほどの百姓が捕えられました。

役人達は、一揆の全容、首謀者を白状させようと、麻なわを結わえた笞しむちという太い鞭で打ち続け、水ぜめ、石だきなど激しい拷問で責めましたが、誰も白状しませんでした。

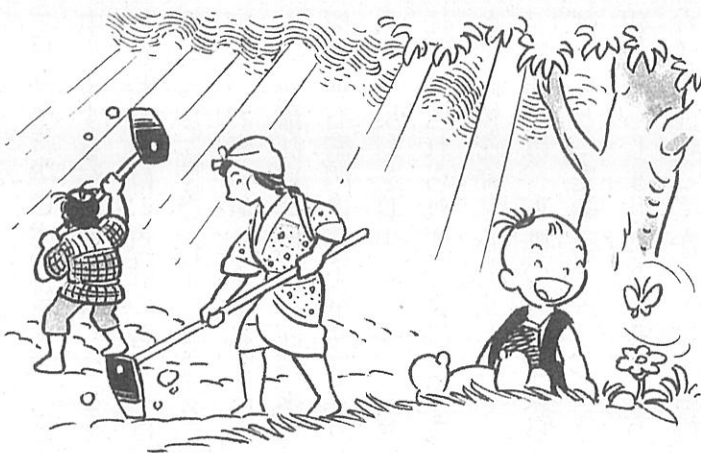
文政七年四月

宮津藩は、百姓達が二度と一揆を起こさぬよう、見せしめの為とも思われる極刑を、宮津杉の末の刑場で執行しました。

奥山の新兵衛、打ち首

義弟、為次郎、打ち首、極門ほか多勢の人達が、領外追放

や永牢の処分を受けました。



一八四〇年(天保十一年)に藩主宗発が病死すると、「万人講」に反対して、謹慎していた栗原理右衛門は赦免、のちに新藩主宗秀の後見役に登用されました。

領民から人望あつた栗原が、藩政に関与する事になり、丹後の春は近づいているようです。KTR天橋立駅から、府道二号線を、宮津方面へ一〇分ほど歩

くと右側に、文政一揆の記念碑「義士義民追頌碑」が、由来の説明板と共に建っています。

参考文献

文政丹後ばなし 来栖良夫著 偕成社

子どもがつづる丹後の歴史 文理閣

京都の歴史散歩(下)山本四朗著 山川出版社

### 由良岳登山証明書発行数

平成 23 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日

741 枚

平成 22 年 801 枚

平成 21 年 1010 枚

(年間証明書発行は平成 21 年から)

川柳

宮津番傘川柳会 大森美智子

泥絵の具 震災の町 書きなぐる

傷心を 吸い込んで行く 海の蒼

相槌が 欲しいと揺れる 仏の灯

春を呼ぶ 雪の下にも ふきのとう

裏表 無心に撫でる 春の風

青天井 吸い込まれそう 無の時間

後期高齢 たからの山は どこですか

坂本妙子

強気な人の 涙を拭いて みる鏡

初春に やる気をくれた 雪の里

歳並みの 夢追い駆けて 竜に乗る

逝込み都々逸

なかよし

な 長い人生

か 家族が肩を

よ 寄せ合い生きる

し 幸せよ

かけごと

か カアカア鳴いて

け 喧嘩も出来ぬ

ど ゴミけちらかし

と 飛ぶカラス

# 「敗戦後『広島市』入口の岡

## 一二葉山のあけぼの

濱野路 大森 孝

(一)

あゝ、又この道だ。朝ぼらけに、大阪を昨夜の九時に出た夜行列車が駅についた。その広島駅のいわゞ勝手口とも云える、『牛田東区』へ向う、西口へ出てから、ひんやりとした、冷気の中をしばらく辿ると、低い岡のような二葉山の麓へ出る。あけぼのの山の佇まいは、気にもとまらずに、私は専ら『横川駅』へ轟音を響かせながら走っていく夜行列車に気をとられた。私が広島駅で降りた列車かなと思いつづけていた。その先は『コト斐』だ。何度か、通る中に、歌手の二葉あき子さんは、広島市の出身で、『夜のプラットホーム』なるヒット曲があることを知った。私が列車を降りて、いよいよ広島市での生活が始まるというほ

ぞを固めた時には、むしろ『フランチエスカの鐘』の音の歌謡曲の方が身近だった。それは幟町の教会のミサの体験もあった。そして、ヒットしなかったが『あゝ広島に花咲けど…』別の歌手の歌謡曲の方がずっと切実で馴染やすかった。昭和二十六年頃になると、この二つをうたい乍ら、大きな川の対岸へ走り去って行く夜汽車を見送るのだった。

広島市民としての始まりと、開始の場所とが、学校を卒業する迄、軌を一にしていた。そんなことで、あけぼのの二葉山はとりわけ感慨深いものであった。

(二)

やがて陽が上ると、牛田東区よりさらに奥に農場を所有して

いた広島女学院の生徒たちが流れて沿って、各人各様に、三々五々、幅の狭い露地の道を登校してゆく。今にして思えば、質素な服装であった。通学路といっても、櫻並木のあたりはせり上がった土手のようで、農道まがいの自然の道であった。

牛田の町内に入ると、家並がつづくもののそれまでは、(川から下流)、沼に似た蓮根田もあった。高台の山田、それらの奥の女学院の農場は里山の裾に当る。自動車も入らない、全くの堤の道を生徒達は通っていた。

その往復の一隅に当初は瀟洒だった洋館風の建物があった、庭木の棕櫚も年期が入っていて、通る度に『ポロン』『ポロン』とピアノが奏でるメロディーが外に洩れていた。焼け残った高学歴の文化人の邸という感じが察せられた。女学院へ行きかう生徒たちも大きく機会があったかな？生徒たちも、将来に花開いて人生をひろげて行ってほしい。そんなことを考えている

と、この洋館のはずれで、昭和二十六年の秋、はからずも逢った。それは、瞳目の牛田の子供達の『亥の子』の収かく祭の行事だ。一瞬、何の事か？奇妙であった。縄にとりどころ石を結えて、洋館のそばの小さな坂道を、数人の子供たちが、叩いて登ってくる。算を乱して、はやしたてたりして。通学生達もこんな『亥の子』の行事にも出会っただろうか。私も一度だけ偶然、午後に出あって、関西へ帰ったので『亥の子さん』をみることは空前絶後となった。私の青春、英連邦軍占領の下の学生生活。(この道にはそんな慣習もしみこんでいる。)

そんな広島へ思いこがれて笈を負うて四年間、想い通り胸がときめく何日があっただろうか。いずれにしても、苦学しながらたゞ卒業を果すべく生きぬいた十九才。ひたすらに、がむしやらに――。

二〇一一年十月一日 記

平成二十三年度 第十二回

# 中学生の主張大会 発表作文集

宮津市・宮津市教育委員会

## 歴史があつて今がある〈優秀賞〉

栗田中学校 二年 蒲原穂香

歴史には、なぜか分らないけど興味をひかれます。昔の人、つまり私達の祖先の人達が歩んできた道と、日本の変動を知ること、とてもわくわくするのです。

歴史を勉強していて思うことはたくさんありますが、その中でも次の四つことを強く思います。

まず一つ目は、時代の変化には必ず人と人との気持ちのぶつかり合いや、通じ合いなど、人情がついてくるということだと思います。

特におもしろいのは、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人です。それぞれ自分のやり方で、全国統一を目指しました。織田信長が統一を成しとげられそうだったのに、明智光秀に裏切られて殺されたり、織田を慕っていた豊臣がかたきをうったりしました。

最後までがまん強く待ち続けていた徳川家康は、二百六十年にも続く江戸幕府を成立させました。いろんな考えを持った人達がいたから、歴史が変動していったんだと思います。

歴史上で私が同感できる思いを持った人もいれば、そんなことを思うのかとびっくりさせられた思いを持った人もいました。ここが、歴史を知る上でおもしろいところだなと思います。

次の二つ目は、教科書に出てくる何かを成しとげた人は、もちろん世の中を大きく動かしたすごい人だと思います。

しかしこの人達以上に、もっと重要な人がいるということだと思います。それは、その下で苦しい思いをして税を支払ってきた人々です。私は、今の人達に、自分の考えを言うことも、やりたいことをすることも否認され、奴隷として人生を終えた人々がいたことを、一番に知っています。

次に三つ目は、坂本龍馬のような、正義の心を持った勇氣のある人達のことです。

昔は、正しいことをしているのに邪魔者だと暗殺さ

れたり、家族まで被害が及んだり、安全に笑って暮らせる時代ではありませんでした。にもかかわらず、自分の意志をつらぬいて日本を良くしようと、日本のために生きた人達が少なくともいたことに感動させられました。この小さな力が、良い方向へと向かう大きな力に変わっていったんだと分かりました。日本のほこりだなど、心から思っています。

最後に四つ目は、日本が平和な国へと変わっていった事件、それは、戦争だということです。私は、戦争することに何の意味があるのか、勝った国は多くの人を死なせておいて、心から笑って喜ぶことができるのかと思います。

特攻隊の人々は、生きて帰ることを希望ですら持つことができませんでした。死に行っているからです。目的は相手にぶつかっていくことなのに、目的を果たす前に相手に攻撃され死んでいった人達は一番つらいのではないかと思いました。

戦争中、お国のために死んでいった人、家族を亡くした人がいることを知った上で分ったことがあります。それは戦争があったから、人々の心に、命より勝つこ

とが大事ななんておかし、戦争することがお国のためなんてまちがっている、戦争は二度としてはいけないという思いが生まれたということですが。

より良い未来を築くために私達にできることは、昔の人々の苦労や悲しみを知り、歴史があったからこそ、今、私達が安全に暮らせていることを忘れないことが大事だと思います。

全ての時代が一本の糸のようにつながっていて、今に至っていると思います。

だから、このたくさんの歴史がつまった長い糸を、私達が未来につないでいかなければいけないと思います。毎日を笑って暮らせることに感謝し、積極的に挑戦心を持って自分の人生を生き抜いていこうと思います。





## 震災から得たもの〈優秀賞〉

栗田中学校 三年 柘岡佑奈

最近、連日のように目にする地震の文字。七ヶ月以上経った今でも、新しい事実がテレビや新聞で伝えられ、地震発生当時の悲惨な情景を物語っています。復興までの道のりは簡単なものではないと分つていても、被災者の方が普段の生活にもどる日はいつくるのかと思つてしまいます。

目をそむけたくなくなるようなニュースだけでなく、「復興への一歩」といえるような、被害者の方にとつても、日本にとつても、前向きなニュースがもっと増えてほしいと願うばかりです。

そんなある日、私はテレビでこんなニュースを見つけました。それは、震災で奇跡的に命をつないだ、岩手県的一本松についてのニュースでした。

七万もの松の中から、たった一本だけ生き残った松からは、震災が被害者の方々の心に残した、消えることのない悲しみや絶望の叫び声が聞こえてくるような気がしました。でも、決して弱々しくなく、そういう重みを力強さに変えて、立派に立っていました。

それは被災者の方々と重なって見えました。毎日毎日、不安がさまざまな形で襲う中、復興のためにという強い意志を持って戦っておられる被害者の方々をテレビで何度も見て、そう感じました。そして、被災地の人はこう言います。

「復興のシンボルとしてずっと生きてほしい。この松を助けることが我々の使命だ。」と。

「復興のシンボル」。この言葉が、私の頭の中に深く残りました。この松が、未来の新しい命へと震災を伝えていくんだろうと感じました。

復興とともにがれきの山が減少し、町の様子から震災の光景が見られなくなった頃でも、この松は絶対に人々の心からは消えないと思います。この松は、三月十一日そのものを示す松なのです。

この一本松は、津波と戦いながら、人々の命を救った松でもあります。残念ながら流されてしまった松も無念に流されたのではなく、岩手県に誇れる松として、最後まで岩手の人々のために頑張ったのです。

またこれらの松は、復興のため、日々頑張っておられる作業員の方々の休憩所の壁となっています。

自然によって破壊されたものを、人間の手で人の役に立つものに変えていくということが各地で行われています。私はその状況に、どこか思いをつまらせるところがありますが、生きるために必要なエネルギーになっっていると思うと、すばらしいことだと思います。そんな被災地も、苦しいことばかりではありません。

自粛の声があがる中、各地で夏の花火大会やお祭りが行われていました。どの行事にも、復興への祈りが込められています。

私はテレビで大勢の人々のいろんな表情を見ました。悲しみを忘れてしまうような喜びに満ちた笑顔。思わず涙を浮かべる人。インタビューでは、「予定通り行えてよかった。」という声を聞きました。自粛することが本当に良いことなのか考えさせられる一言でした。

私たちの暮らす地域と、東北の町の様子や生活は違います。しかし、志は同じです。誰もが復興を願っています。

震災で失ったものは多いが、希望は消えません。一本松が奇跡を形にしたように。



# 振り込め詐欺多発!

由良駐在所 池内久也

今年に入り、京都府北部で振り込め詐欺が相次いで発生しています。宮津署管内では、四件の振り込め詐欺が発生しました。未だに市役所の職員などを名乗る不審な電話が後を絶ちません。

由良地域には多くの高齢者の方が住んでおられます。被害に遭わないために、振り込め詐欺の特徴や注意点などについてご説明します。  
まず、振り込め詐欺の手口についてご説明します。振り込め詐欺の手口は複雑、巧妙化しており、

## ①オレオレ詐欺

家族、警察官、あるいは家族が勤務している会社の上司などを装って金銭を要求する手口

## ②架空請求詐欺

通知書、電話、はがきで未払い金があるなどと申し向け金銭を要求する手口

## ③融資保証詐欺

資金融資を勧誘し保証金の名目で現金を要求する手口

## ④還付金等詐欺

医療費、税金、年金などの還付金があると偽り、その手続き名目にATM機を操作させるなどして送金を行わせる手口

があります。これら四つの手口を総称して「振り込め詐欺」と呼びます。

次に発生状況についてご説明します。平成二十三年中の京都府内の振り込め詐欺の認知件数

は三十八件で被害総額は約三八〇〇万円にのぼります。

今年に入り、京都府下では九件の振り込め詐欺が発生しており、被害額は一、六〇〇万円です。これは昨年一年間の被害額の四割に達します。

発生した九件のうち七件が宮津市や舞鶴市などの府北部で発生しています。手口のひとつが「医療費の還付」名目でした。

最後に被害の防止についてご説明します。まずは、不審な電話の対応方法についてご説明します。

- ・知らない電話番号から電話が掛かってきても電話に出ない。(留守番電話にしておく)
- ・相手から携帯電話の有無を尋ねられても「ない。」と答える。
- ・銀行口座やキャッシュカードの有無を尋ねられての答えない。(家族に預けているなどと答える。なお、銀

行職員等が口座やキャッシュカードの有無を尋ねてくることはありません)「ATMコーナーに向かつてください」と言われても応じない。

(公共機関からATM機の操作を通じて振り込みがなされることはありません)  
・不審な電話があった場合、一旦電話を切り、社会保険庁(市役所)等(電話帳に記載している電話番号)に事実の確認をしてください。(相手が社会保険庁の連絡先と称して仲間の電話番号を教えるケースがあるので注意してください)

犯人の手口は、非常に丁寧で優しい口調ですが、難しい言葉や並べたてて被害者を混乱させたり、「すぐに手続きをしないとお金が返ってきません。」などと言ってきます。また、家族、警察などに連絡させないために電話を切らせないようにアン

ケートをとるなどしてきます。落ち着いて対応してください。

振り込め詐欺の犯人はいかにして相手を混乱させようか、あるいは焦らせようかと考えています。「自分は大丈夫」という心の隙は危険です。ご自身を含めご家族の方々にこのような電話などがあつた際、あわてず、周りの方々に確認するようにしてください。

由良地域の皆様には、毎月の広報誌に加え、特に事件が発生した際には「宮警安全ニュース」を回覧していますので、そちらもぜひ目を通してください。

今後とも由良地域の安全、安心のため、皆様をお守りする活動に努めてまいります。お困りごと等ありましたら気軽に声を掛けていただきますようよろしくお願いいたします。

# 振り込め詐欺 注意!!

## ちーと知っ得

### 岩穴明神記

脇西側に稲荷さんがある。

寛延三（一七五〇）年に由良に疫病が流行し、村人の多くが患い悩んだ。

松原寺住職三世 傳苗和尚にお願ひして大勢の僧侶によつて大般若経六百巻を

読経し祈願したところ、疫病が治まった。

村人は喜び、この地を選んで社を建て、以後岩穴明神と称して丁重にお祀りした。

その後近隣の村里から参拝者が多く、自然に稲荷さんと呼ぶようになった。

（飯澤登志朗）



岩穴稲荷神社

## 編集後記

2012 (H24) 3月

昨秋の長期予報が的中した。一月末から冬の気圧配置が非常に強くなり、二月一日夜からの積雪は、舞鶴市八十六センチ（海洋気象台発表）一九四七年に統計を取り始めてから最多となり、宮津では上世屋で二六七センチ積り、奈具海岸では、大型トラレーが側溝に脱輪、八キロの渋滞があつた。養老地区では寺の本堂の屋根が落ちていた。  
KTR北近畿タンゴ鉄道も宮津線・宮福線全線で運転を取りやめている。季節を表す二十四節気の一つ「立春」頃に晴天が続く、道路も屋根もだいぶ溶け地区民もホット胸をなでおろしたがその後も毎日少しずつ雪は降り続けている。震災後の現在も苦しんでおられる東日本の方々の苦勞を察すると、この位の雪ぐらい耐えなければならぬと思う。

（枝川）